

第五十六回帝國議會
衆議院

競馬法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
競馬法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和四年二月六日(水曜日)午後一時十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 内野辰次郎君

理事 野中 徹也君

理事 志村清右衛門君

中川原貞機君 林 路一君

土井 權大君 川島正次郎君

坂本志魯雄君 丹下茂十郎君

平川松太郎君 菅村 太事君

田中千代松君 小山倉之助君

佐藤 與一君

同月四日委員森田茂君辭任ニ付其ノ補闕トシテ木村秀興君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山本悌二郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法省刑事局長 泉二 新熊君

農林政務次官 東 武君

農林參典官 砂田 重政君

農林省畜產局長 戸田 保忠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

競馬法中改正法律案(政府提出)

○内野委員長 只今カラ開會ヲ致シマス、今日ハ質問ヲ御願ヲ致シマスルガ、質問者ノ通知ガアリマスカラ、順次ニ御許シヲ致シマス、只御含ミヲ願フテ置

キマスノハ、本日大臣ガ後程限ツタ用事ガアリマシテ此席ヲ去ルコトニナツテ居リマスカラ、通告ノ御方モドウカ大臣ノ質問ヲ先ニセラレルヤウ申上ゲテ置キマス

○山本國務大臣 競馬法中改正法律案ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ其提案ノ理由ヲ一應説明致シテ置キマシタガ、尙ホ本委員會ニ於キマシテモ簡單ニ其理由ヲ説明致シタイト存ジマス、諸君競馬法ヲ施行セラレマシテ此方出走馬ハ年々増加セラレマシテ、五年間ニ其數ガ倍加スルニ至リマシタノミナラズ、其傾向ハ益々著シイモノガアルノデアリマス、仍テ此狀勢ニ應ジマスルガ爲ニ、競馬設備ノ充實ト擴張トヲ圖ル必要ガアリマスト共ニ、競馬俱樂部ノ負擔力ニ相當ノ餘裕ガアリマスルノデ、政府納付金率ノ引上ヲ爲スノ必要ガアリマスルノデ、茲ニ本改正案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、改正ノ要點ハ開催日數ヲ一期ニ付キ二日延長ヲ致シタコト、法人數ヲ五箇所増加致シタコト、及政府納付金ノ率ヲ百分ノ一ヨリ百分ノ三ニ増加致シマシタコト、此三點デアリマス、開催期間ノ延長ト法人數ノ増加トハ、實ニ出走馬ノ増加ニ依ル現在ノ必要ニ應ズルノミニ止ラズシテ、馬政上ノ見地ヨリ見マ

シテ、特殊競争ヲ適當ニ實施セシムル必要ヲ考慮致シマシテ、馬政計畫遂行實現ノ爲ニ、競馬鍛鍊ヲ爲ス必要ノアル馬ノ數ヲ目標ト致シマシテ其計畫ヲ立テタノデアリマス、又政府納付金率ノ増加ハ勝馬投票券發賣ノ現勢ニ鑑ミ、競馬負擔力ノ實狀ニ察シマスルニ、改正案ノ程度迄引上ヲ爲ス餘地アルモノト認メマシタガ爲デアリマス、之ヲ以テ馬ニ關スル施設ノ經費ニ充當致シマシテ、馬政上ノ要求ニ應ゼントスルノデアリマス、ドウゾ御審議ノ上御贊同アラントコトヲ希望致シマス

○平川委員 私ノ質問ハ主トシテ司法省及內務省ノ當局者ニ質疑ヲ致シマス、然ル後農林省ノ當局者ニ質問ヲ致シタイト存ジマシタガ、本日內務省並ニ司法省ノ御方ガマダ御見エニナツテ居リマセシ、且ツ委員長カラ今御注意ガアリマシタカラ、農林大臣ニ對シマシテ簡單ナル質問ヲ致シマス、サウシテ詳細ナル説明ハ農林省ノ政府委員ノ御方並ニ其他ノ司法省、內務省ニ對スル質問ハ留保シテ置キマス、先ヅ農林大臣ニ對シテ質問ヲシテ見タイト思フ點ハ、此競馬法ノ附則ノ第二項ニハ「本法ニ依ル競馬ヲ行フ法人ノ數ハ當分ノ中十一以內トス」ト云フ附則ナノデアリマスガ、此附則ハ此競馬法ヲ御提出ニナツ

タ時ニハ原案ニハ無カッタヤウニ思フノデアリマス、此競馬法ニ付キマシテハ衆議院及貴族院ニ於キマシテ非常ナル議論ガアツテ、殊ニ貴族院ニ於テ非常ナル反對論ガアツタノデアリマス、ソコデ其反對論ノ要旨ハ、競馬ヲ馬券ニ依ル所ノ——馬券ノ賣買ニ依ル所ノ競馬ヲ許スト云フコトハ、風教上ニ於テモ非常ナ弊害ガアル、併シ一面ニ於テ馬ノ改良、若クハ増殖ヲ圖ルト云フコト、及馬事思想ヲ普及スルト云フコト、此利益ガアルガ故ニ、或ハ一面賭博若クハ富籤ニ類スルヤウナ行爲デアアル、又非常ニ風教上ニ於テモ害ノアルト云フコトハ是ハ爭フベカラザル所ノ事實デアアル、サリナガラ此利益ガアル爲ニ已ムラ得ズシテカラニ、此競馬法ニ對シテ贊成シナケレバナラヌ、ソコデ此弊害ガアルガ故ニ、將來妄ニ此競馬場ノ數ヲ減ラスト云フコトハイカナイト云フコトデ、貴族院ニ於テ斯ノ如キ制限ヲセラレタヤウニ記憶シテ居リマスガ、果シテ此附則ヲ設ケラレタ所ノ理由ハサウ云フ理由デアリマセウカドウカ、若シ然リトスレバ、果シテ私ノ言ウヤウナ理由ニ依テ此附則ヲ設ケラレタトスルナラバ、此制限ヲ擴張スル場合ニ於キマシテハ、餘程ノ理由ガナケラネバ、此制限ヲ擴張スル譯ニハ行カナイト思ヒマス、

若シモサウ云フ理由ニ依テ此附則ヲ設ケラレタトスルナラバ、ドウシテ此制限ヲ擴張シテ六箇所殖サナケレバナラナイカ、此理由ヲ今少シ詳細ニ拜聽シタイノデアリマス、此點ヲ先ヅ御伺シタイ

○山本國務大臣 競馬法ノ附則ニ十一箇所ト云フコトニ規定サレタト云フ理由ハ、御説ノ通りニ主トシテハ矢張風教上ノ問題カラ出發シテ居ルヤウニ記憶致シマス、然レドモ馬券ニ對スル制限ヤ何カヲ設ケマシテサウシテ、之ヲ風教上ソレ程ノ害ガナイカアルカト云フコトヲ見テ、然ル後ニ増減ヲ行ハウト云フ意思デアッタラウト思フノデアリマス、故ニ「當分」ト云フ文字ヲ加ヘテアリマスノハ、ソレデアラウト思ヒマス、從前ノ馬券ニ非常ナ弊害ガアリマシタカラ、ソレ等ノ點ニ相當ノ制限ヲ加ヘテ、サウシテ之ヲ實施シテ見タナラバ、ソレニ餘リ甚ダシイ弊害ガナイヤウデアッタナラバ、更ニ増設スルモ亦可ナリト云フ意味ガ其裏面ニ現ハレテ居ルヤウニ私ハ思ヒマス、ソレ故「當分」ト云フ文字ガ加ヘテアルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、ソコデ五箇年間實施シテ見マシタ經驗ニ依リマス、餘リニ風紀上ノ弊害ト云フモノガ見エナイヤウニ當局ハ見テ居リマス、一時ハ御承知ノ通り非常ナル投機的賭博的ノ傾向ニ走り過ギタノデアリマスルガ、アレデヤイケナイコトハ

是ハ勿論デアリマス、ソレ以來改訂サレタ馬券其他ハ取締ノ關係カラ致シマシテ、昨今競馬ノ實情ヲ見マスト云フト、ソレ程風紀上ニハ、人ヲ立テ、居ルカ馬ヲ立テ、居ルカト云フ程ノ弊害モ見エナイ、ソコデ一方ニ於テハ今度ハ經濟上カラ又國法上カラ見マスト云フト、ドウシテモ日數ノ延長、同數ノ増加ト云フコト以上ニ、法人數ヲ増加シテ行カナケレバ、此目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ結論ニ到著致シマシタガ故ニ、今回場所ヲ増設スルト云フコトニ致シマシタ、然ラバドウシテ増設シナケレバ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアアルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ大體私カラ申上ゲマスルガ、色々數字ニ涉ル問題モアリマスカラ、詳シイコトハ政府委員カラ申上ゲマス、大體カラ申シマスト、今所謂馬政ノ計畫ハ第二期ニ這入ッテ居リマスルガ、即チ持久力ヲ持ッタ、高サモ、中間ノ寸尺ヲ持ッタ、サウシテ速力モ相當有ルト云フ、所謂軍事ノ方面カラシテモ、亦產業ノ方面カラシテモ、必要ナル馬種ヲ拵ヘ上ゲル其數ハ全體ニ於テ百五十萬頭ト云フ數ヲ維持シヤウ、是ガ第二期計畫ノ目的ニナッテ居リマス、所ガ現在ノ競馬ノ趣旨カラ見マスト、マルデ非常ナ速力ヲ持ッ、所謂「サラブレッド」種ト云フヤウナ、主トシテ疾走ヲスルヤウナ狀況ニナッテ居リマス、所謂「アラブ」トカ「アングロアラブ」トカ「アルガ、

第二期計畫ハサウ云フヤウナ馬種ト云フモノハ殆ド疾走ガ出來ナイヤウナ狀態ニナッテ居ル、之ヲ「サラブレッド」ト併セテ疾走ヲサセルト云フコトヲ目的ト致シマシテ、サウシテ現在ノ馬ノ數、疾走ニ堪ヘ得ベキ馬ノ數カラ打算致シマスト、ドウシテモ競馬ノ場所ヲ増設セスト云フト此目的ガ達成サレナイ、ソレガ即チ改正案ノ出發シタ所以デアル、尙ホ詳シイコトニ付キマシテ必要ガアリマスレバ政府委員カラ説明致シマス

○平川委員 大臣ハ御多忙デアリマスカラ、私ハ大體ノコトダケヲ一應質問シタイノデアリマス、數字ニ涉ルコトハ政府委員ニ質問シタイト思ヒマス、只今ノ大臣ノ御答辯ニ依リマスト、五箇年間ノ經驗ニ依テ風教上サシタル弊害ヲ認メナイト云フ御意見デアリマストガ、私ハ此點ニ付テ質問シテ見タイノデアリマス、申スマデモナク歐洲戰爭以來世界ノ人心ニ大動搖ヲ致シマシテ、此波及ヲ受ケテ我國ノ人心ノ動搖モ亦甚ダシイト云フコトハ、是亦爭フ可カラザル所デアアル、昨年ノ特別議會ニ於キマシテモ思想國難ニ關スル所ノ決議案ガ出テ居ル、又現內閣ニ於テモ、此思想善導ト云フコトニ付キマシテハ非常ナル御盡力デアリマス、總理大臣モ院外ニ於テ度々聲明シテ居ラレルト思ヒマス、私ハ此馬券ノ發賣ニ依ル所ノ競馬ガ思想上非常ナル弊害ヲ生ズル

ト云フコトヲ確メテ居ル一人デアリマス、言換ヘレバ思想善導ト云フコト、馬券ノ發賣ト云フコトハ、非常ニ矛盾スルヤウニ思フノデアリマス、素ヨリ此法案ハ馬ノ改良ヲ目的トシ、馬ノ走力ヲ企圖シ、且ツ馬ニ關スル思想ノ普及ヲ圖ルト云フノガ目的デアリマスカラ、此利益ハ一面ニ於テ圖レルカモ知レナイ、併シ斯ウ云フ目的ヲ達スルガ爲ニ、半面ニ於テ國民ヲ傷フト云フコトハ實ニ甚大デアルト思フノデアリマス、私ハ先ヅ此競馬ニ何等經驗モ有ッテ居リマセヌ、隨テ競馬場ニ出入シタコトハ未ダ一同モゴザイマセヌガ、私ノ知ル範圍ニ於キマシテハ、此競馬法ニ依ル所ノ競馬ハ入場料一同五圓ト記憶シテ居リマス、サウシテ一枚ノ馬券ヲ買ヒマスノニ二十圓、其他旅費トカ何トカ云フモノヲ合算致シマストレバ、一人ガ費消スル金額ハ少クトモ一日四五十圓以上ニ上ッテ居ルノデアリマス、甚シキニ於キマシテハ藝者ナドヲ自動車ニ乗セテ、盛裝シテカラニ競馬場ニ繰込ムト云フヤウナコトモ目撃スルノデアリマス、仍テ競馬ニ出入スル所ノ觀客ト申シマス、或ハ馬券ヲ買フ人ト申シマス、サウ云フ人ハ恐ラク中産階級以上ノモノガ多イト思ヒマス、サウシテ一面ニ是ハ司法省ノ方ニ私ハ伺ヒタイ積リデアリマスガ、現ニ四十六議會ニ於テ競馬法ガ提出ニナリマシタ時ニモ、司法當局ハ左様ニ答ヘテ居

ル、是ハ富籤ニ該當スル所ノ行爲デア
ル、明ニ刑法ニ於ケル所ノ賭博ノ行爲
ニ該當スベキモノデア、斯ウ云フヤ
ウナ回答ガアルノデアリマス、私等ノ
解釋ニ依リマシテモ、此法律ハ投機若
ハ少クトモ富籤ニ該當スベキ所ノ行
爲デアルト思ヒマス、斯ノ如ク中産階
級以上ノ人ハ此法律ノ保護ノ下ニ、法

律ノ保護ニ隱レテ尙ホ公然トシテカラ
ニ刑法違反ノ行爲ヲ致シテ居ル、サウ
シテ之ヲ少シモ罰シナイノミナラズ、
却テ之ヲ獎勵スル、半面ニ於キマシテ
中産階級以下、無産階級ノ者若クハ勞
働者、斯ウ云フ者ハ皆競馬場ニ出入ス
ル所ノ資格ハナイ、斯ウ云フ人間ガ一
日勞働致シマシテ夜間慰ミ半分ニ僅カ
十錢若ハ二十錢、多クトモ一圓以内ノ
金額ヲ以テ賭博ヲシタ場合ニ於キマシ
テハ、直ニ刑法違反ナリトシテカラニ、
警察若ハ裁判所ヘ引ッ張ラレテ、二日
三日ノ拘留ニ處セラレ、未決拘留ニ
處セラレ、其ノ上ニ常習犯トシテハ二
箇月若クハ三箇月ノ處刑ヲ受ケ、又少
クトモ二十圓、三十圓、五十圓ノ罰金科
料ニ處セラレト云フヤウナ狀態デア
ル、斯ノ如キ事ハ明ニ私ハ國家ノ取扱
ガ不公平デアルト考ヘマス、中産階級
以上ノ者ハ前申ス通り贅澤ナ事ヲシ
テ、サウシテ少シモ處罰サレナイノニ、
僅カ十錢二十錢ノ賭ヲシテ直ニ處罰セ
ラレル、是ハ明ニ國家ノ取扱ガ不公平
デア、斯ウ云フ不公平ヲ取扱ガアレ

バ國民ノ思想ト云フモノハドウシテモ
善導スルコトガ出來ナイ、國民思想ノ
惡化ト云フモノハ恐ラク私ハ斯ウ云フ
國家ノ不公平ナル取扱ニ胚胎スベキコ
トガ多イト考ヘルノデアリマス、此點
ニ付キマシテハ大臣ノ御所見ハ如何デ
アリマセウカ、之ヲ一ツ御伺シタイノ
デアリマス

テハ私共ノ見ル所デハ、馬券發賣ニ相
當ノ制限ヲ加ヘタル今日ノ制度ノ下ニ
行ハレテ居ル所ノ此競馬ト云フモノハ、
ソレ程ニ風紀思想ノ大類廢ラ來ス程ノ
弊害ハ認メテ居リマセヌ、國防上經濟
上ノ必要ト天秤ニ掛ケテ見マスルト云
フト、ソレデモ之ヲ廢シテシマハナケ
レバナラナイ、若クハ場處ノ増設ハ相
成ラヌ程ノ大ナル弊害ハ認メテ居ラナ
イ、斯様ニ申ス次第デアリマス

○山本國務大臣 只今ノ御説ハ競馬ニ
伴フ馬券發賣ト云フコトヲ許シテ宜シ
イノデアアルカ、宜シクナイノデアアルカ
ト云フ根本論ニ觸レテ居ルヤウニ承知
致シマス、根本論カラ申シマスレバ斯
ウ云フコトヲ許シタガ宜シイカ、許サ
ナイガ宜イカト云ヘバ、是ハモウ申ス
迄モナイコトデア、私共個人トシテ
ハ之ヲ許サナイ方ガ宜シイト考ヘテ居
リマス、ケレドモ此議論ハ國防上經濟
上ノ關係ヲ一面ニ考慮シ、一面ニハ風
紀上思想上ノ關係ヲ考慮致シテ、之ヲ
斟酌酌量シタ上カラシテ相當ノ制限ヲ
加ヘタル馬券發賣ハ已ムヲ得ズト云フ
コトニ相成ッテ、今日之ガ現行法トシテ
行ハレテ居ル次第デアリマスカラ、唯
今日此問題トシテハ現在行ッテ居ル此
制限發賣ヲシテ居ル競馬法ト云フモノ
ガ、甚シク堪ヘラレナイ程ノ、即チ國ノ
他面ノ要求、他ノ方面ノ要求、即チ經濟
上軍事上ノ要求ニ比較シテモ尙ホ堪ヘ
得ザル程ニ風紀上、思想上、大害ヲ流シ
テ居ルカト云フダケノ問題ニナルノデ
ハナイカト思ヒマス、其點ニ付キマシ

テハ私共ノ見ル所デハ、馬券發賣ニ相
當ノ制限ヲ加ヘタル今日ノ制度ノ下ニ
行ハレテ居ル所ノ此競馬ト云フモノハ、
ソレ程ニ風紀思想ノ大類廢ラ來ス程ノ
弊害ハ認メテ居リマセヌ、國防上經濟
上ノ必要ト天秤ニ掛ケテ見マスルト云
フト、ソレデモ之ヲ廢シテシマハナケ
レバナラナイ、若クハ場處ノ増設ハ相
成ラヌ程ノ大ナル弊害ハ認メテ居ラナ
イ、斯様ニ申ス次第デアリマス

○平川委員 只今ノ質問ハ素ヨリ
競馬法ヲ許スヤ否ヤト云フ所ノ根本的
ノ議論ニ相成リマス同時ニ、若モ斯
ノ如キ風教上大ナル影響ガアリトスル
ナラバ、私ハ此競馬法ハ漸次ニ之ニ制
限ヲ加ヘ、サウシテ最後ニハ之ヲ撤廢
スベキモノデアラウト考ヘルノデアリ
マス、故ニ若シ大臣ニ於テ私ガ只今質
問ヲ致シマシタ通りノ、詰リ風教上ニ
由々シキ實害ガアルカドウカト云フコ
トヲ御認メニナルナラバ、場處其他ノ
制限ヲ擴張セラレナイデ、漸次ニ此範
圍ヲ縮少スル、サウシテ最後ニハ之ヲ
撤廢スルト云フコトガ私ハ相當デハナ
イカ、斯様ニ考ヘマシタカラ、私ハ只今
質問ヲシタノデアリマス、併シ大臣ノ
御答辯ハ風教上ニ於テモ多少ノ弊害ハ
アルト云フコトヲ御認メニナッテ居ル、
多少ノ弊害ハアルガ國防上其他ノ點ニ
於テ之ヲ天秤ニ掛ケル時ニハ、矢張其
利益ノ方ガ遙ニ掛ケル時ニハ、重イカラ、
是ハ其制限ヲ擴張スルノダト、斯ウ云

フ風ナ御答辯ト拜承致シテ差支ナイノ
デアリマスカ

○山本國務大臣 理想論ト致シテハ斯
様ナコトガ全然無イノガ宜イカ、有ル
ノガ宜イカト云ヘバ、無イ方ガ宜シイ
ト私個人トシテハ考ヘテ居リマス、是
ハ何人モ左様ニ考ヘテ居ルダラウト思
ヒマス、但シ一面ニ於テハ國防上及經
濟上ノ必要カラシテ或程度ノ——甚シ
キ害毒ヲ流サナイ範圍ニ於テノ方法ナ
ラ許シテモ宜イト云フコトニ相成ッテ、
今日ノ現行法規ガ出來タノデアリマス、
ソコデ之ヲヤッテ見タ所ガ甚シキ弊害
ヲ見ナイノデアリマス、ソレ故ニ更ニ
之ヲ國防上經濟上ノ必要カラシテ、擴
張增加ヲ致シマシテモ、又大害ガナイ
モノト斯様ニ當局ハ認メテ此案ヲ提出
致シタ次第デアリマス

○平川委員 今一點大臣ニ御伺致シテ
置キタイ點ハ、私ノ實驗ニ依リマス、
現ニ私ノ選舉區ニ於キマシテハ、此競
馬ニ非常ニ夢中ニナリマシテ——一攫
千金ノ利ヲ得ン、斯ウ云フコトカラ非
常ニ夢中ニナリマシテ、遂ニハ祖先傳
來ノ田畑宅地迄モ賣拂ッテ、サウシテ自
分ノ住ミ慣レタ郷里ニ居ルコトガ出來
ズシテ、他ニ移住シタト云フヤウナ人
モアリマスシ、又競馬ニ失敗ヲ致シマ
シテ家族ニ申譯ガナイト云フ所カラ、
現ニ首ヲ縊ッテ死ンダ者モアリマス、斯
様ニ個人ノ經濟上ニ惡イ影響ヲ及ボス
ト云フコトガ私共ノ實驗ニ依リマス

○山本國務大臣 理想論ト致シテハ斯
様ナコトガ全然無イノガ宜イカ、有ル
ノガ宜イカト云ヘバ、無イ方ガ宜シイ
ト私個人トシテハ考ヘテ居リマス、是
ハ何人モ左様ニ考ヘテ居ルダラウト思
ヒマス、但シ一面ニ於テハ國防上及經
濟上ノ必要カラシテ或程度ノ——甚シ
キ害毒ヲ流サナイ範圍ニ於テノ方法ナ
ラ許シテモ宜イト云フコトニ相成ッテ、
今日ノ現行法規ガ出來タノデアリマス、
ソコデ之ヲヤッテ見タ所ガ甚シキ弊害
ヲ見ナイノデアリマス、ソレ故ニ更ニ
之ヲ國防上經濟上ノ必要カラシテ、擴
張增加ヲ致シマシテモ、又大害ガナイ
モノト斯様ニ當局ハ認メテ此案ヲ提出
致シタ次第デアリマス

○平川委員 今一點大臣ニ御伺致シテ
置キタイ點ハ、私ノ實驗ニ依リマス、
現ニ私ノ選舉區ニ於キマシテハ、此競
馬ニ非常ニ夢中ニナリマシテ——一攫
千金ノ利ヲ得ン、斯ウ云フコトカラ非
常ニ夢中ニナリマシテ、遂ニハ祖先傳
來ノ田畑宅地迄モ賣拂ッテ、サウシテ自
分ノ住ミ慣レタ郷里ニ居ルコトガ出來
ズシテ、他ニ移住シタト云フヤウナ人
モアリマスシ、又競馬ニ失敗ヲ致シマ
シテ家族ニ申譯ガナイト云フ所カラ、
現ニ首ヲ縊ッテ死ンダ者モアリマス、斯
様ニ個人ノ經濟上ニ惡イ影響ヲ及ボス
ト云フコトガ私共ノ實驗ニ依リマス

○平川委員 今一點大臣ニ御伺致シテ
置キタイ點ハ、私ノ實驗ニ依リマス、
現ニ私ノ選舉區ニ於キマシテハ、此競
馬ニ非常ニ夢中ニナリマシテ——一攫
千金ノ利ヲ得ン、斯ウ云フコトカラ非
常ニ夢中ニナリマシテ、遂ニハ祖先傳
來ノ田畑宅地迄モ賣拂ッテ、サウシテ自
分ノ住ミ慣レタ郷里ニ居ルコトガ出來
ズシテ、他ニ移住シタト云フヤウナ人
モアリマスシ、又競馬ニ失敗ヲ致シマ
シテ家族ニ申譯ガナイト云フ所カラ、
現ニ首ヲ縊ッテ死ンダ者モアリマス、斯
様ニ個人ノ經濟上ニ惡イ影響ヲ及ボス
ト云フコトガ私共ノ實驗ニ依リマス

澤山アリマスルガ、大臣ハ此間ニサウ云フヤウナ事實ハナイト云フコトヲ御承知ニナッテ居ルノデアリマセウカ、所謂多少弊害ガアルト云フコトヲ御認メニナルノデアリマセウカ

○山本國務大臣 只今御話ニナリマシタ所謂一攫千金のノコトヲヤッタ、其結果トシテ本人竝家族ガ浪々ノ身トナラナケレバナラナイト云フヤウナ、サウ云フ悲惨ナ事柄ハ昔ノ競馬ニ於テハ屢々目撃シタルコトデアリマスガ、今日ノ競馬ハ再三繰返シテ申上ゲル通り、相當ノ制限ヲ設ケテ馬券ノ發賣ヲ許シテアリマスガ爲ニ、昔ハ一攫千金デアッタカモ知レマセヌガ、今日ハ一攫二百金ニモナラナイト云フヤウナ譯ニナッテ居ルノデアリマス、從テ御説ノヤウナ其爲ニ家産ヲ蕩盡シテシマウトカ、一家ガ離散、浪々ヲシナケレバナラナイト云フヤウナ問題ガ起ッタト云フヤウナコトハ、尠クトモ私ノ耳ニ這入ッテ居リマセヌ、從テ私ハ左様ナ極端ナ弊害ガ各所ニ起ッテ居ルトハ見テ居リマセヌ

○平川委員 農林大臣ニ對スル質問ハ私ハ是デ留保シテ置キマス、只今司法省ノ刑事局長ガ御見エニナッテ居リマセガ

○内野委員長 後ニ廻シテ下サイ——菅村君大臣ニ對スル質問ヲ願ヒマス

○菅村委員 私ノ質問ハ只今平川君ノ御質問ニ依テ了解致シマシタカラ、本案ニ對シテ必要ナ參考書類ノ御提出ダ

ケヲ希望シテ置キマシテ、後ハ其參考書ニ依リマシテ内容ノ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、其要求スル所ノ參考書類ハ地方競馬各府縣認可ノ數、及其位置、ソレカラ地方競馬每期出場頭數、及出走頭數、ソレカラ地方競馬開期度數及馬券賣上高、ソレカラ產馬ニ關スル參考書類ガ農林省ニアルト思ヒマスカラ、ソレヲ頂戴致シタイノデアリマス、ソレカラ馬ノ改良繁殖ニ最重要ナ關係ヲ有スル所ノ、多年ノ懸案ニナッテ居リマスル各府縣放牧地ノ箇所及面積及國有地ノ使用料金表、ソレカラモウ一ツハ軍馬ノ購買地及購買頭數、其用途別、竝ニ購買代金平均表、是ハ陸軍ノ方カラ御提出ヲ願ヒタイ、ソレカラ私ガ質問スル時ニハ馬ノ用途ガ最重要ト思フノデアリマスカラ、陸軍當局ノ御出席ヲ要求シタイト思ヒマス、是ダケヲ申上ゲテ後ハ參考書ガ來テカラ内容ニ付テ質問ヲ致シマス

○田中委員 此質問ノ前提トシテ、先程平川君ヨリ御質問ガアリマシタカラ、其他ノコトデ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○内野委員長 大臣ニ對スル質問ガナケレバ……

○田中委員 大臣ニ對スル質問ガアリマス、本改正案ハ農林大臣ノ御言明ニ依ルト主トシテ競馬法第一條ノ目的ヲ達スルガ爲デアルト云フコトニ伺ッタノデアリマス、然ラバ何故ニ此政府納

付金率ノ増加ノ必要ガアルノデアリマスカ、只今私共ノ手ニ入リマシタ馬券ノ賣上高ヲ見マスルト、五年間ニ約三倍ニナッテ居リマス、而シテ政府ニ對スル納付金ハ此馬券ノ賣上ノ百分ノ一ト云フコトニナッテ居リマスカラ、大正十三年ニ假ニ一デアッタモノガ三ニナッテ居ル譯デアリマス、是ト此前ノ十二年ノ競馬法制定ノ際ニモ議論ガアリマシタガ、何ダカ政府ハ之ヲ以テ歲入ノ増加ヲ圖ルノデハナイカト云フヤウナ、國民ニ非常ナ風教上面白カラヌ感ジヲ與ヘテ居ルノデアリマス、競馬法改正案ノ提案ノ理由ニ依リマス、政府納付金率ノ増加ハ立馬投票券賣上ノ現況ニ徴シマシテ、競馬俱樂部負擔力ノ實狀ニモ鑑ミマシテ、相當引上ノ餘地アルモノト認メテ云々、之ニ依テ馬ニ關スル施設ノ經費ニ充當シ、以テ馬政上ノ要求ニ合致セムトスルノデアアル、斯ウナッテ居リマシテ、主トシテハ歲入ヲ圖ラウトスルヨリハ、寧ロ競馬法第一條ノ目的ヲ達セムトスルガ爲デアルト思ハレルノデアリマス、然ルニ之ヲ特ニ百分ノ一ヨリ百分ノ三ニ引上ゲルト云フコトハドウモ吾ミトシテハ了解目的ヲ達スルダケナラバ、現ニ此五年度間ニ一カラ三ニマデ上ッテ居ルト云フ馬券ノ賣上高ニ依テモ十分デアルト思フノデアリマス、ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ、競馬法ノ第一條ニアル所ノ

此目的ヲ達スル爲ニハ、競馬ニ依ルニアラズンバ政府ハ其目的ヲ達セラレヌト云フ御考デアリマセウカ、其以外ニ地方馬券ヲ賣ラナイ競馬ニ對シマシテ相當ノ補助ヲスル、或ハ其他ノ方法デ、風教上害ノアル斯ウ云フ競馬法ノ改正ヲヤルヨリハ、斯様ナ方法デ馬政上必要ナル所ノ目的ヲ達セラレルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、此點ニ對シマシテ大臣ノ所見ハ如何デアリマスカ

○山本國務大臣 納付金ノ率ヲ引上ゲル必要ハナイデハナイカト云フ第一ノ御尋ノヤウデアリマスガ、是ハ此賣上ノ數ガ三倍ニ達シタカラ其必要ガナイデハナイカト云フヤウナ御尋デアリマシタ、全體ノ上カラ見マシテ競馬俱樂部ノ力ガ段々ニ強ク堅實ニナッテ參リマシテ、此位ノ率ノ引上ハ優ニ出來ル狀態ニアルト當局ハ認メテ居リマス、サウ致シマスレバ得ル所ノ收入ハ御承知ノ通り之ヲ馬事ノ振興ノ方ニ振向ケル經費デアリマスカラ、是ダケノ負擔ヲ競馬俱樂部ノ方ニ増加シテモ差支ナイ、斯ウ云フ考ナノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ風教上カラ見テ多少ナリトモ害ガアルト認メラレル大キナ競馬ヲヤラナクテモ、地方競馬ノ獎勵其他ニ依テ目的ヲ達セラレルノデハナイカト云フコトデアリマシタガ、地方競馬ト競馬法ニ依ル大キナ競馬ト云フモノハ、各、其目的ト使命ヲ全然

異ニシテ居リマスノデアリマスカラ、地方競馬ノ獎勵ノミニ依テ此第一條ノ目的ヲ達スルコトハ困難ノコト、當局ハ信ジテ居リマス

○田中委員 競馬法ノ第一條ニ依リマスルト、馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスルト云フコトガ明記サレテ居リマス、競馬俱樂部ノ負擔納付金率ヲ百分ノ一ヨリ百分ノ三ニマデ引上ゲテモ差支ナイカラ、ソレダケ政府ガ餘計金ヲ取ル、斯ウ云フ思召ノヤウニ伺ヒマシタガ、寧ロサウ云フコトデアルナラバ——馬事思想ノ普及ヲ圖ルト云フコトデアルナラバ、平川君ガ言ッタ通り入場料ト云フモノヲ安クシテ、中産階級以下ノ者ニマデモ、何人ニモ現在ノ制度ヨリハ入場シ易イト云フ方針ニシテ、而シテ馬事思想ノ普及ヲ圖ッタ方ガ競馬法第一條ノ目的ヲ達スルノデハナイカト思ヒマス、然ルニ政府ハ從來ノ百分ノ一ヲ三倍ニシテ、而シテ今ノ制度ヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ、ドウモ風教上面白カラヌ結果ニナリハシナイカト思ヒマス、ドウモ此政府ノ遣方ハ競馬法ノ第一條ノ目的ニ反シテ居ッテ、寧ロ此歳入ノ増加ヲ——地租委譲若ハ營業收益税ノ地方委譲ニ依ル歳入ノ缺陷ヲ補フ手段ニ用ヒテ居ルノデハナイカ、只今ノ馬事思想ノ普及ト云フヤウナコトハ名前ダケデアッテ、實質ハ其國庫ノ缺陷ヲ補フ手段デハナイカ、斯ウ思ハレルノデアリマスカラ、斯ウ

思ハレルヤウナ危イ、寧ロ危險思想ヲ養フヤウナコトハ止メテ、從來ノ儘デ爲サルト云フ御考ハアリマセヌカ

○山本國務大臣 馬事思想ノ普及ヲ圖ル爲ニハ入場料ヲモット安クシテ、澤山ノ人ヲ入レタラ宜イデヤナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハ却テ非常ニ弊害ガアルト思ヒマス、馬券ト云フモノヲ許シテアルカラ入場料ヲ無料ニスル、或ハ極メテ安イモノニスレバ、馬券ヲ買フ資格ノ無イ人マデモ澤山入ッテ來テ、馬券ヲ弄ブト云フ弊害ガ生ズルデアラウ、是ガ即チ入場料ヲ或ル一定ノ限度ニ定メテアル所以デアリマス、故ニ私ハ今後ニ於テモ相當ノ料金ヲ取ルコトガ宜シイ、馬事思想ノ普及ハ必ズシモソレノミニ依テ盡シテ居ルトハ考ヘマセヌ、ソレカラ歳入ヲ多クシテ地租委譲ノ財源ニスルノデヤナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマスガ、絕對ニ左様ナコトハアリマセヌ、御承知ノ通り競馬カラ出タ收入ハ馬事ノ振興ニ使フト云フコトハ、昔カラノ原則ニナッテ居リマスシ、將來ト雖モ此原則ニ依テヤル考デアリマス、ソレカラ地租委譲トハ全然關係ガアリマセヌ、殊ニ是ハ常識ニ依テモ分リマス、兩稅委譲ハ一億三千萬圓モ歳入ノ不足トナルノデ、斯様ナコトヲシテ、馬ノ方ノ收入ハ總テ、百五十萬圓カ百八十萬圓ニ過ギマセヌ、而モ從來收入ノアッタ分ヲ引キマスト極メテ僅ナ金額ニナル、之ヲ兩稅

委譲ノ金ニ比較スルト提灯ニ鐘ドコロノ話デハナイ、之ニ依テ兩稅委譲ノ辻褄ヲ合スト云フヤウナコトノナイコトハ、此數字ノ上ニ於テモ御了解ヲ願ハナケレバナリマセヌ

○田中委員 只今ノ大臣ノ御答ハ私ハ誠ニ奇怪ニ思フ、馬事思想ノ普及ヲ圖ルヲ目的トスルト云フコトガ競馬法ヲ制定サレタ根本ニナッテ居リマス、而シテ國民ノ多數ガ競馬場ニ入ルコトヲ妨ゲルガ爲ニ入場料ヲ取ルノダト云ウ、ソレナラバ何故ニ附則ノ十一號十六號ヲ改正シナイノデアルカ、是レ即チ馬事思想ノ普及ヲ目的トシタ爲デハナイデアリマセウカ、ソレニモ拘ラズ入場料ヲ取り、十三歳以下ノ者ハ入レナイ、斯様ナコトデ馬事思想ノ普及ト云フコトガドウシテ出來マスカ、實ニ前後撞著矛盾モ甚シイト思ヒマス、尙之ニ對スル御説明ヲ願ヒマス

○山本國務大臣 ソレハ馬事思想ノ普及ハ必ズシモ競馬ニ依ラズトモ、他ノ方法デモ出來マスガ、競馬ト云フコトモ馬事思想普及ノ一方法ダト云フコトハ確ニ申セルノデアリマス、然レドモ普及ト云フコトノミニ遍シテ一面競馬ニ因ル多少ノ弊害ト云フコトモ考慮セズニ置クコトハ宜シクナイ、其弊害ヲ出來ルダケ少クシタイト思フ、ソレニ付テハ入場料ヲ相當ノ程度ニ制限スルト云フコトハ最も適當ノ方法ト是マデモ考ヘ、今モ尙考ヘテ居リマス、ハ昔

カラ官民共ニ考ヘテ居ル所デアリマス、之ヲ明ケ放シニスルト云フコトハ却テ弊害ヲ助長スル虞ガアル、其爲ニ又馬事思想ノ普及ガ阻害サレマス、故ニ之ヲ多少制限スルト云フコトハ矛盾ヲシテ居ルノデハナイカト云フ御尋ハ、ソレハ極端ニ申セバ矛盾シテ居ルト言ッテモ宜イカモ知レマセヌ、ケレドモ馬事思想ノ普及ハ競馬バカリデハナク、他ノ方法デモ出來マスガ、此收入ガアレバ、ソレガ廻リ廻ッテ他ノ方面ニ於ケル馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトニナル、併シ入場料ヲ極ク安クシテ明ケ放シニスルト云フコトハ弊害ガアルカラ、之ニハ相當ノ制限ヲ置イタ方ガ宜イ、而モ是ハ今度初メテ設ケタコトデハナク、元カラサウナッテ居ル、ソレデ宜シイト考ヘテ居リマス

○田中委員 私ハ入場料ヲ撤廢シロト云フノデアリマセヌ、之ヲ安クシテ多クノ人ノ入レルヤウニシタラ宜カラウト言ウノデス、現在ノ五圓ト云フノ或ハ三圓ニスルトカ、二圓ニスル、サウスルトソレダケ入場者ノ數ガ多クナル、サウスレバ馬事思想ノ普及ニナル、現在ノ馬券ハ別問題ト致シマシテモ、馬事思想ノ普及ハ出來ルヤウニ思ヒマス、今ノ大臣ノ御説明ニ依レバ、競馬ハ中産以上ノ者ノ娛樂ノ道具デヤナイカト云フヤウナ疑ヲ起シ易イヤウナ御答辯デアリマス、サウスルト此趣旨ニ反スル、一方ニ競馬ハ絕對ニ必要ダト言ヒナ

ガラ、今ノ大臣ノ御答デハ、澤山ノ者ガ來テハ困ルカラ、中産以上ノ者ダケヲ入レルト云ウ、此御答ハ此改正ノ趣旨ニ副ハナイト思ヒマス、併シ是レ以上申上ゲテモ同ジコトヲ繰返スノミデアリマスカラ、此質問ハ是デ打切りマシテ、次ニハ陸軍省司法省ノ方ニ質問スルコトニ致シマス

○山本國務大臣 一寸入場料ノコトニ付テ申シテ置キマスガ、入場料ハ競馬場ニ依テ違ッテ居ルサウデス、五圓ト云フノハ東京ダケデ、後ハ三圓ノ處モアリ二圓ノ處モアリマス、是ハ程度ノ問題デアリマス

○田中委員 質問ヲ打切りマシタガ、私ノ安クト云フノハ二圓ナラバ一圓五十錢ニスル、三圓ナラバ二圓ニスルト云フヤウニ現在ヨリ安クト云フ意味デス

○林委員 競馬ノ目的トスル所ノ馬ノ改良増殖及ビ馬事思想ノ普及ノ爲ニ競馬法ガ設ケテアル、今回増設セントスル五箇所ノ競馬場ニ對スル方針、之ヲ簡單ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、御配付ニナリマシタ馬制第一計畫ニ依リマシテモ、全國ニ於ケル總馬數ハ國防上及ビ産業上ノ見地カラ少クトモ百五十萬頭ヲ維持スル必要ガアルト云フノデスガ、此馬數ヲ維持スルニハ一面ニ於テ盛ニ生産ヲ獎勵シナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、而シテ此生産ヲ獎勵致シマスノニハ、其馬ノ増殖及ビ育

成ニ最モ好適シタ條件ヲ具備スル地方ヲ選バナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ馬ノ増殖育成ニハ第一ノ條件トシテ必要ナノハ土地ヲ要スルノデアリマス、此土地ニ付テモ經濟的ニ行ク地方ヲ選ブト云フコトガ大切デアアル、御承知ノ如ク北海道ハ現在第二拓殖計畫ノ實行ニ當ッテ居リマシテ、此計畫ニ於テハ馬ヲ五十萬頭ニ達セシメルト云フコトガ畜産上ノ大眼目ニナッテ居ルノデアリマス、誠ニ北海道ハ既往ノ實績ニ徴シマシテモ馬ノ増殖育成ニ最モ好適ヲ致シテ居ル地方デゴザイマス、今日マデノ成績ヲ申上ゲマシテモ私ノ申上ゲル統計ハ古イノデアリマスガ、大正十一年カラ大正十四年マデ、四箇年間に、陸軍ガ全國カラ購買シタ馬ノ數ガ一萬七百七十二頭デ、其中四千九十二頭、即チ全國ノ四割六分ハ北海道カラ購買シテ居リマス、斯様ナ過去ニ於ケル狀勢ハ今後第二期拓殖ノ計畫ト致シマスル、即チ畜産上、馬ノ増殖方針ト致シマスル五十萬頭ニ達スル時代ガ參ッ

タナラバ、恐ラク我國ニ必要ナル軍馬ノ補充ハ北海道ダケデ事足ルモノト考ヘルノデアリマス、獨リ軍馬ノミナラズ、總テノ必要ナル馬ガ最モ經濟的ニ有利ニ育成シ得ル北海道ニ主力ヲ注グコトガ、最モ大切ナコト、思ヒマスガ、之ニ對スル當局ノ御方針ハ如何デアリマスカ、而シテ此生産育成ノ方針ト、ソレカラ今回増設セントスル所ノ競馬場

樂部ノ五箇所デアリマスガ、私ハ現在ニ於テモ或ハ將來ニ於テモ、最モ產馬ニ有利ナル條件ヲ備ヘテ居ル地方ニ、今回増設スベキモノヲ配置シナケレバナラヌモノト考ヘマスガ、當局ノ御方針ハ如何デアリマスカ、私ノ前段申上ゲマシタ事柄カラ申シマスレバ、即チ北海道ノ如キハ將ニ増設シナケレバナラヌ所デハナイカト考ヘマス、之ニ對スル當局ノ御方針ハ如何デアリマスカ

○山本國務大臣 北海道ハ產馬ノ上カラ見マシテモ極メテ重要ナ位置ニ在リ、又將來モ極メテ適切ナル地方デアルト云フコトハ、私モ確ニ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ今回設置サルベキ競馬場ハ北海道ニ割當ツベキモノデアアルガ、ソレガドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ全國ヲ見マシテ種々ノ競馬場ヲ設置スル條件ニ最モ好ク適當スル所ニ割當テラ致ス積リデアリマ

スガ、マダ何處ト云フコトヲ此際明言スル機會ニ到著致シテ居リマセヌ

○林委員 此改正法ノ成立致シマセヌ今日ニ於テ、無論何レノ地方ニ決ッテ競馬場ヲ設置スルト云フコトノ御明言ノ出來ヌコトハ勿論デアリマスガ、此生産育成ニ付テ主力ヲ注グコトノ適當ナル地方、其地方ニ更ニ其方針ノ實行ヲ助長スル爲ニ此競馬場ヲ設置スルト云フヤウナ事柄ハ、馬政上肝要ナ事デアラウト思ヒマスガ、即チ配置ノ順序ト致シマシテハ、私ノ申上ゲル北海道ト

ハ申シマセヌ、現在ノ狀勢ニ於テモ或ハ將來ニ於テモ、產馬上重要ナル地方ニ競馬場ヲ設置スルト云フコトガ第一ノ御方針デナケレバナラヌト考ヘマスガ、是ハ如何デアリマスカ

○山本國務大臣 產馬地方ト云フコトハ是ハ競馬場設置ニ付テノ最モ重要視シナケレバナラヌト云フコトハ認メマス、去リナガラ競馬場設置ノ條件ノ全部ガソレデアアルカト云ヘバ、必ズシモサウデハナク、他ニモ必要トスベキ條件ガアルヤウニ思ヒマス、唯北海道ニ付キマシテハ御説ノ通り、馬政上カラ見マシテ非常ニ重要視シナケレバナラヌ地方デアリマスルガ故ニ、競馬ト云フ事以外ニ於テモ當局ハ相當ノ力ヲ此方面ニ費ス積リデアリマスルノデ、現ニ本年ノ豫算ニモ種子馬場一箇所北海道ニ設置スル積リデ、其豫算ヲ請求シテ居ルヤウナ次第デアリマス、決シテ北海道ヲ閑却スルヤウナコトハナイノデアリマス

○丹下委員 大臣ヲ煩ハス程ノ質問デアリマセヌガ、一二大臣カラ承ッテ見タイト思ヒマス、競馬法施行ノ爲ニ偶、多少ノ弊害ガアルカラト云ヒマシテモ、國策上馬匹ノ改良増殖ノ上ニ必要デアルト云フコトハ、此際已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、併シ本法施行後著シク入場馬數ノ増加シタト云フコトハ認メラレルノデアリマスガ、一般馬匹ノ改良増殖ノ上ニ競馬場設置ノ效果ヲ直接

間接ニ如何ナル程度マデ認メルコトガ出来ルカト云フコトハ、此統計表ヲ見テモ、亦生産馬數ノ上カラ見テモ、サウ云フコトヲ認メ得ルヤウニ思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ御所見ヲ承ハリタイト思ヒマス

○山本國務大臣 ソレハ相當效果ガアツタヤウニ當局ハ認メマス、其詳シイコトハ政府委員カラ説明致サセマス

○丹下委員 ソレハ後デ宜ウゴザイマス、モウ一ツ御尋致シマスガ、本法改正ノ結果五箇所増設サレル競馬場ニ對シテ、從來設置サレテ居ル地方競馬場ヲ昇格サレルト云フヤウナ説ヲ爲ス者モアリマスガ、之ニ對シテノ御方針ヲ伺ヒタイ、俗ニ謂フ地方競馬場ノ昇格、斯ウ云フ説ガアリマス、果シテサウ云フ御意見デアルカ、ソコヲ御聞キシタイ

○山本國務大臣 是ハ問題ハ全然別デアリマス、又左様ナコトハ考ヘテ居リマセス

○志村委員 私ハ詳シク御尋シタイト思ヒマスガ、農林大臣ハ餘リ詳シイコトハ知ラヌヤウデアリマスカラ、後デ政府委員カラ聞クコトニ致シマス、ソコデ分リサウナコトダケヲ聞キマス、其前ニ參考書トシテ御提出ヲ願ヒタイノハ、各競馬ヲ開催スルトキニ農林省カラ監督ノ方ガ御出デニナリマスガ、其監督官ノ復命書ト申シマスガ、報告書ト申シマスガ、ソレヲ御差支ナケレバ

參考ニ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ大臣ニ御尋シタイノハ、今回法人數ヲ五箇所殖スノハ、現在ノ競馬ハ相當所期ノ目的ヲ達成シツ、アル、隨テ法人數ヲ殖スナラバ尙ホヨリ能ク達成セラレルト云フ御見込デ増加ノ御提案ヲ爲

スツタノデアルカ、即チ今ノ競馬ト云フモノガ完全トハ申サナクテモ、相當ニ施行セラレツ、アルト云フコトヲ前提トシテノ御考デアリマスガ、ドウデスカ、之ガ第一ソレカラ第二ハ法人數ヲ五箇所、殖シテ政府ハ馬事思想ノ普及ヲ圖リ、又產馬獎勵ノ目的ヲ達シ、サウシテ一面ニハ強ク御主張ハナサレナカッタヤウデスケレドモ、私ノ考デハ裏面ニ於テハ相當深イ理由ヲ御持チニナッテ居ルダラウト思フ、政府ノ增收ノ計畫、其目的ガ現在ノ競馬ノ狀態デ果シテ達成セラル、御見込ガ立ッテ居リマスカドウデスカ、サウシテ更ニ進ンデハ、若シ今ノ競馬ハ完全ニ其目的ヲ達スルヤウナ立派ナ事項ガ出来テ居ラナカッタナラバ、今ノ競馬ノ遣方ヲ改善シテ行ク御意思ガアリマスカドウデスカ、其二點ダケヲ御聽シテ置キタイト思ヒマス

○山本國務大臣 現在ノ競馬場ガ設置以來效果ヲ收メテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、當局ハ相當效果ヲ收メテ居ルト認メテ居リマス、又尙之ニ對シテ改良スベキ餘地ガアルカナイノデアアルカト云フ御尋ガ最後ニアツタヤウデアリマスガ、是モ尙改良ス

ベキ餘地ガアルノデハナイカト思ッテ居リマスガ、尙其詳シイコトハ政府委員ノ方カラ御説明申上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ收入ヲ目的トシテ居ルヤウデアアルガ、其收入ハ完全ニ所期ノ通りニ收メルコトガ出来ルカドウカト云フ御尋モアリマシタヤウデスカ、此主タル目的ハ提案ノ際ニ御説明申上

ゲマシタ通りニ、馬ノ増殖改良及馬事思想ノ普及ト云フコトニアルコトハ申ス迄モアリマセヌガ、今回ノ法律案ノ改正ニ依リマシテ收入ノ増加スルト云フコトハ、是ハ副産物トシテ當局ハ期待致シテ居ル次第デアリマス、而シテソレハ御承知ノ通りニ矢張外ヘハ使ハナイノデアアツテ、大體ニ於テハ馬事振興ノ入費ニ昔カラ使ッテ居リマスカラ、將來ト雖モ亦之ニ使ウノデアリマシテ、之ガ爲ニ馬事ノ振興ヲ促進スルコトガ出来レバ、洵ニ仕合セト當局ハ信ジテ居リマス

○志村委員 收入ノ増加ト云フコトハ無論競馬ノ上ヨリ見マスレバ主ナル理由デハナイト云フコトハ分ッテ居リマスガ、併シ一面ニハ現在ノ俱樂部デ納メテ居ル百分ノ一ヲ百分ノ三ニ迄引上ゲルト云フ、所謂殊更ニ政府ハ收入ヲ増スベク率ヲ引上ゲテ居リマスカラ、政府ガ收入ノ増加ヲ圖ッテ居ルト云フコトハ爭ハレナイ事實デアリマス、唯ソレヲ使フノニハ他ニハ使ハナイ、矢張是ハ產馬獎勵ノ意味ニ於テ使フノデ

アルト云フ用途ヲ限定シテアリマスカラ、必ズシモ其增收ヲ圖ルト云フコトハ惡イトハ申スノデハナイノデアリマス、サウシテ又一面ニ先程モ平川君其

他ヨリ御質問ガアツタヤウデスカ、競馬ト云フト兎角此賭博或ハ富籤類似ト云フコトニ前提ヲ置イテ、總テノ議論ガ進メラレテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ是ハ甚ダ遺憾デアルト思フ、競馬ト云フモノハ全然賭博デハナイ、富籤デハナイ、ソレハ競馬ヲ知ラナイ人カ實際ヲ知ラナイ人ノ杞憂デアルト私ハ考

ヘテ居ル、私ハ競馬ニハ甚ダ趣味ヲ持ッテ居ル者デ、政府ヲ援護スル爲ノ議論デハナイ、私ハ競馬ヲ援護スル爲ニ政黨ヲ離レテ言ッテ見タイト思フ、實際今ノ競馬ト云フモノハ馬ノ能力本位デアアツテ、ソコニ何等ノ人工的ナ危險ト云フモノハナイノデアアル、デアリマスカラ馬ノ能力ト云フモノガ完全ニ競馬ニ於テ發揮セラル、ナラバ、全ク是ハ競馬トハ縁ヲ切ッテ居ル、ソレガ若シ其間ニ或ハ其作戦ト申シマスガ、俗ニ八百長ト申シマスケレドモ、掛引ガアツテ、サウシテ其馬ヲ勝ツベキモノヲワザト勝タサズニ他ノ馬ヲ勝タセル、サウ云フコトヲ言ハレノデアアツテ、若シ監督ガ嚴重デアツテ、俱樂部ノ權威ト云フモノガ儼然トシテ居レバ、サウ云フ場合ニハ之ヲ嚴罰ニ處スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、全ク性質ハ賭博トハ

違フテ居ルノデアリマス、然ルニ大臣ハ動モスレバ賭博ノ弊害ヲ認ムルヤウナ口吻デアアル、是ハ農林大臣トシテ、洵ニ怪シカラヌ話デアアルと思フ、少クトモ農林大臣ハ競馬ハ賭博ニアラズト云フコトノ確信ガナケレバナラナイ、競馬ハ賭博ノ弊害ヲ伴フモノデアルト云フ御考デアルナラバ、今度ノ増設案ノ如キハ全然出サナイ筈デアアル、デアリマスカラモウ一遍能ク他ノ方カラ大臣ハ御聽ニナツテ、競馬ハ賭博ニアラズト云フコトノ確信ヲ得テカラデナケレバ質問ガ出來ナイ、其考ガ大臣ニアルカドウカラ聞キタイと思フノデアリマス

○山本國務大臣 是ハ申迄モナイコトデアアルと思ヒマスガ、賭博ハ國法デモ之ヲ禁止シテ居リマスカラ、若シ賭博ナリトセバ、特別法ナドデ之ヲ禁ズルコトハ困難デナイカト思ヒマス、大體ニ於テハ性質ガ賭博ニ類スルモノ位ノ輕イ意味デ、貴族院アタリデ風教上害デアリマシテ、法律上ノソレガ賭博デアアルカイカト云フコトニ至リマシテハ、露骨ニ言ヘバ私モハッキリ分ラナイノデアリマステレドモ、是ガ大ナル風教上ノ害アリトハ認メテ居ラヌト云フコトヲ再三申上ゲテ居ルデアリマス

○志村委員 私ノ質問ガ徹底シマセヌ爲メカ、大臣ノ御答辯モ頗ル不徹底デアアル、私ハ競馬ト賭博トハ全然性質ガ違フモノデアアル、風教上ノ害ガアルカイ

カト云フヤウナコトハ、敢テ競馬ダケデナク、議會ニ於テモ或ル意味ニ於テ隨分風教上ノ害ヲ流ス行動ヲ取ツテ居ル者モアルノデアリマスカラ、是ハ競馬ニ限ラナイ、競馬ト賭博トハ違フ、賭博ハ所謂天運デアツテ、吾々ハ賭博ヲシタコトハアリマセヌケレドモ、賭博ト云フモノハ必ズシモ自分ガ勝テルト云フ確信ヲ得ラレナイモノデアアル、競馬ト云フモノハサウ云フモノデナイ、其馬ノ能率、所謂種類トカ、馬ノ調教ノ工合、サウシテ馬場ノ關係、從テ馬ノ能力算定ト云フコトハ、一ツノ基準ヲ得ラレルモノデアリマス、全ク吾々ハ何等準據スル所ナクシテ、其勝敗ヲ爭フモノデハナクシテ、此馬デアツテ、此血統デアツテ、此馬場デアツテ、此負擔斤量デアアル、サウシテ此騎手が乗ル、是ナラバ此馬ガ當然勝テナケレバナラヌト云フコトハ、立派ニ數字上カラ出セルモノデアリマスカラ、其間ニ賭博トハ縁ヲ切ツテ居ル(「ソレデハ損ヲスル者ガナイデハナイカ」ト呼フ者アリ)損ヲスルコトハ全然ナイ、損ヲスルト云フ彌次ガアリマシタガ、損ヲスルコトハナイ、ソコデ一寸申上ゲマスカラ、損ヲスルコトハナイ筈デスガ、サウ云フ風ニ勝負ガ決ツテシマヘバ、所謂競馬ノ興味ト云フモノハナクナリマスカラ、ソコデ競馬ノ興味ヲ持續スル上ニ於テ、所謂「ハンディキヤップ」ノ策戰ガアツテ、サウシテ勝負ヲ能力ノ引上、斤量ノ調節

ニ依テ平均サセテ行ク、サウデナケレバ如何ニ政府ガ百四十萬圓儲ケヤウト思フデモ、勝負ガ單純デアツテ、一萬人見テ是ガ一萬人トモ此馬ガ勝ツト決ツテ居レバ、誰モ馬券ノ買手ハナイ、其勝負ヲ興味付ケテ行ク所ニ、競馬ガ盛シナル元ガアルノデアアル、所謂賭博トハ全然違フ、風教上ノ害ガアルト申シマスケレドモ、昨今ノ競馬デハ大シタ風教上ノ害ハナイト見テ居リマス、ソレデ大臣モナイト言ハレテ居リマスカラ、意見ノ一致ハシテ居リマスカラ、ソレヨリモ競馬ハ賭博ニアラズト云フコトヲ考ヘテ欲シイノデアリマス

○山本國務大臣 私ハ既ニソレヲ申シタ積リデアリマス、即チ競馬ハ賭博デハナイ、若シ是ガ賭博デアルト云フコトナラバ、特別法ヲ以テ之ヲ許スト云フガ如キ國法上ノ矛盾ヲ許スコトハアリマスマイデハナイカ、却テソレハ不徹底デアルト仰セニナル譯デアラウト思ヒマスガ、端的ニ申シマセバ競馬ハ賭博デハナイト當局ハ解釋ヲ致シマス

○志村委員 競馬ガ賭博デナイト云フコトデアアルナラバ、私ハ政府提案ニ對シテ、果シテ政府ガ提案ノ趣旨ヲ達成シ得ルカ否カト云フ詳シイ質問ヲシタイノデスケレドモ、ソレハ大臣デハ分リサウモアリマセヌカラ、後デ政府委員ニ御尋致シマス

○野中委員 私ガ大臣ニ御聞キ致サウ

ト思ヒマスコトハ、大體丹下君ガ御質問ニナリマシタガ、政府ハ馬政計畫遂行實現ノ爲ニ此法律案ヲ提出ニナリマシタガ、果シテ政府ハ此馬政計畫ノ基本數デアリマス、百五十萬頭ヲ維持スル御考ガアルノデアリマスカラ、維持スル方ガ適當デアルト御認ニナルノデアリマスカ、ドウデスカ、若シ此百五十萬頭ヲ維持セントスルガ爲ニ、競馬法ノ提出ヲスルト云フナラバ、是ガ實際上ノ狀態ト合ツテ居ラヌト私自身ハ認メマスガ故ニ、先ヅ第一ニ政府ハ果シテ計畫ノ百五十萬頭ヲ維持スル御考ガアリマスカドウデスカ、前以テ御聞キ致シテ置キマス

○山本農林大臣 御尋ノ通りデアリマス

○野中委員 若シ百五十萬頭ヲ維持スルト云フ御考ガアリマシテモ、最近ノ情勢カラ見マセバ、此百五十萬頭ハズン／＼減少セントスル狀態ニアルト私ハ考ヘテ居リマスカラ、若シ是ガ減少セントスルナラバ——一面ニ於テ競馬法ノ施行以來競馬ノ馬ハ非常ニ殖エテ居リマスニ拘ラズ、百五十萬頭ガ減少スルト云フナラバ、原因ハ外ニアリハセヌカト私ハ考ヘル、ソレデアリマスカラ若シ原因ガ外ニアル、例ヘバ勢力ノ問題トカ或ハ經濟上ノ問題ニ依テ百五十萬頭ガ減少ノ狀態デアラナラバ、ソレハ競馬ニ依テノミ獎勵スベキモノデハナク、又一面競馬ノ馬ガ殖エテ

居ル狀態カラ見マス、此減少ノ狀態ト、競馬ノ馬ノ増加ト云フモノ、間ニ原因結果ガナイト思ヒマス、シテ見レバ百五十萬頭ヲ維持スルト云フコトハ結果デアリマスガ、競馬ノ馬ヲ殖シテモ百五十萬頭ヲ維持スルコトガ出來ヌト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○山本國務大臣 百五十萬頭ヲ維持スル上ニ付テハ競馬ハ何等ノ關係ハナイデヤナイカ、既往ノ實蹟ニ徴シテモ競馬俱樂部ハ十一箇所アツテモ、馬ノ數ハ減ツテ居ルデヤナイカ、斯ウ云フ御尋デアッタノデアリマスガ、競馬ニ依テノミ數ヲ維持スル、若クハ増加スルコトハ無論出來マセヌト政府モ考ヘテ居リマスガ、併ナガラ種ノ改良ト云フコトニ付テハ競馬ハ極メテ重要ナ意義ヲ有ツテ居ルト思ツテ居ルノデアリマス、ソレデ

現在馬ノ數ガ減少シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、其原因ガ他方面ニ存シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマシテ、是ハ競馬ノ力ノミヲ以テ此減少ヲ防ギ、而シテ百五十萬頭ヲ維持スルト云フコトハ不可能デアルト思ヒマスガ故ニ、此競馬法ノ改良ノ外ニ各種ノ計畫ヲ立テマシテ、本年度ニ於キマシテモ、之ニ對シテ百萬圓以上ノ經費ヲ此豫算計畫ノ中ニ要求シテアルノハ、即チソレデアアルノデアリマシテ、將來競馬ノ收入等ガ殖エマシテ、此方面ニ振向ケル收入ガ増加スレバスル程、百五十

萬頭維持ノ計畫ヲ遂行スルニ便利ナリト考ヘルノデアリマス

○野中委員 マダ細カイ競馬場ト此競馬法トノ關係ニ付テモ御質問致シタイト思ヒマスガ、事細カイシ、資料トシマシテモ私ノ手許ニアルノガ非常ニ乏シイノデアリマスカラ、資料ヲ戴キマシテ、追ッテ御質問致シタイト考ヘマス

○内野委員長 モウ大臣ニ御尋ニナルコトガゴザイマセヌカ

○平川委員 ソレデハ一寸聞キタイノデスガ、今參考書ヲ貰ヒマシタケレドモ、ソレハマダ……

○東政府委員 一寸申上ゲマスガ、諸君ノ御質問ガ色ミアリマシタシ、競馬法ノ改正案ヲ提出シタ理由ハ私カラ説明致シマシタガ、大體諸君ノ御參考ニナル點、ドウ收入ヲ殖ヤストカ、徒ニ競馬場ヲ増シテ風教ヲ害サヌカト云フ問題デナクシテ、馬政上ノ根本ヲ確立スル理由カラ、信念ヲ以テ此案ヲ提出シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテハ馬ノ能力檢定所、之ヲドウシテモ創設シナケレバナラヌト云フ、收入以外ノ馬ノ血液、體形或ハ今後馬産ノ方針ト云フヤウナモノガ、非常ニ關係ヲ持ツノデアリマス、ソレデアアルカラ大體此處ニ政府委員ガ——私モ詳シイコトハ知リマセヌガ、政府委員カラソレ等ノ提案ヲシタ三ツノ理由ノ中ニ於テ、馬政上ニ關スルコトニ付テサウ長イコト御聽キヲ願フテモ何ダト思ヒマス

カラ、御參考ニナル點ダケ申上ゲタイト思ヒマス、審議ヲ進メル上ニ於テ便利ガアルト思ヒマスカラ、サウ云フコトニ御願致シタイト思ヒマス

○内野委員長 宜シウゴザリマス

○戸田政府委員 此開催期間ノ延長ト法人ノ數ノ増加ニ付テ主トシテ申上ゲマス、大臣カラノ御説明ニモアリマシタ通り、大正十二年ニ競馬法ニ依ル競馬ヲ施行シテカラ以來、出場ノ馬數ガ逐年増加シテ居ルノデアリマス、ソレ

デ其狀況ハ大正十二年ハ秋季ノミデアリマスカラ、ソレヲ除キマシテ、十三年以後ノ狀況ニ依リマスレバ、大正十三年ノ登錄馬數ハ一千六百七十八頭、出走馬數ハ二千二百二十二頭デアリマシタガ、年々増加致シマシテ、昭和三年度ハ登錄馬數ハ四千二百九十頭、出走馬數ハ二千四百三十二頭ト云フ風ニナツテ居リマシテ、年々一同ノ例外モナク増加致シテ居リマス、是ガ即チ五年間ニ倍加シタト云フコトヲ大臣ガ説明セラレタト思ヒマシタガ、其數字上ノ根據ハ是デアアルノデアリマス、サウシテ此出場馬ガ増加ノ趨勢ニアルコトハ、將來ニ向ッテモ大體同ジヤウナ今日ノ狀況ニアルノデアリマス、ソレガ又一面馬政計畫カラ見マシテモ、競馬法ニ依ル競馬ニ依テ檢定能力ヲ有スル馬ノ數ハ、今ノ出場馬數ヨリ多少多數デアリマス、馬政計畫カラ見レバ、尠クモ三千餘頭ノ馬ハ競馬ニ依リマシテ能力檢定

ヲ要スルノデアリマス、是ハ念ノ爲ニ申上ゲマスガ、地方競馬トハ皆別デゴザイマス、競馬法ニ依ル競馬ハ全國的ニ馬ノ能力ヲ檢定スルノデアリマシテ、地方競馬ハ全然性質ノ異ルモノデアリマス、ソレカラ一方馬産ノ改良上ノ見地カラ致シマシテ障礙速歩競争、「アングロアラブ」競争、ト云フヤウナ競争ヲスル必要ガアルノデアリマス、是ハ現在ノ法人ノ數ト開催日數デハ實際困難デアリマス、申スマデモナク良種馬ヲ養成致シマスニハ障礙競争ヲ、中間種ヲ獎勵致シマスニハ駈歩競争ヲ行ハシムル必要ガアルノデアリマス、又一面駈足競争ハ非常ニ弱イ馬ヲ作り易イト云フヤウナ——弱イト申シマス

カ、纖細菲薄ト申シマスカ、サウ云フ馬ヲ作り易イト云フ非難ニ對シマシテハ、努メテ競争距離ヲ長カラシムルト同時ニ、重量ヲ重カラシメテ、此弊害ノ除去ニ努力致シテ居リマスガ、一方ニ於キマシテ競馬ト云フモノガ速力ヲ尊ブ關係カラ致シマシテ、屢々其間ニ「サラブレッド」偏重ノ弊ニ陥リ易イノデアリマス、隨テ國防上最モ要求サレル所ノ「アラブ」「アングロアラブ」ノ競争ヲ必要トスルノデアリマスガ、是ハ現在ノ十一俱樂部ニ於テハ、今日ノ狀況デハ各一回宛ノ速歩競争ト障礙競争ヲ行ツテ居リマシテ、「アラブ」「アングロアラブ」ノ競争ハ僅ニ中山競馬場ニ於テ一回行ツテ居ルニ過ギナイノデア

リマス、其今日ノ狀況ニ於テ直ニ各俱樂部ニ對シテ是等ノ馬産改良上ノ見地カラ競争ヲ急ニ數多ク行ハシムルト云フコトハ、出場馬數其他ノ關係カラ言ヒマシテ無理ガアルノデアリマス、デアリマスルカラ、現状ノ儘デハ是等馬産ノ改良上ノ見地カラ要求サレル競争ヲ理想的ニ行フコトハ、今日ノ開催日數ノ延長ト法人數ノ若干ノ増加ト云フモノガナケレバ出來ナイノデアリマス、ソレハ現行法ノ下ニ於キマシテモ、一回ノ出走馬數ヲ増加シ、又ハ一日ノ競争ノ回數ヲ、現在ハ通常十一回ヲ原則トシテ居リマスガ、之ヲ増加スルコトニ依リマシテ、増加シテ居ル傾向ニアル出走馬ヲシテ出走セシメ、又特殊競争ヲモ行ヒ得ルデハナイカト云フヤウナ疑問ガ起リマスケレドモ、併ナガラ一回ノ出走馬ハ、競馬場ノ幅員ニ自ラ制限ガアルノデアリマシテ、無暗ニ一回ニ澤山ノ馬ヲ走ラセルコトハ出來マセヌノデアリマス、ソレカラ又競馬ノ實際ノ施行ノ上カラ言ヒマス、寧ロ理想カラ云ヘバ十回位ガ適當デアアルノデアリマス、外國邊リデハモット回數ガ少ナイヤウデアリマス、今日ノ狀況デハ十一回ヲ限度トシテヤッテ居リマスガ、之ヲ無暗ニ一日ノ競馬度數ヲ殖セバ開催執務員ノ困憊其他色々ノ事故ガ生ジ易イノデアリマシテ、競馬ノ完全ナル、又穩健ナル發達ナリ施行ナリヲセシムルコトハ出來ナイノデアリマ

ス、隨テ開催日數ノ増加ト法人數ノ増加ヲ要スルノデアリマスガ、此法人數ノ増加ヲ五箇所ト致シマシタノハ、檢定能力ヲ要スル今日全國のニ考ヘマシテ、馬ノ數カラ來テ居ルノデアリマス、數字上ノ根據ニ依リマシテ五箇所ト云フ數ガ現レテ居ルノデアリマス、是ハ馬ノ改良上競馬ニ依リマシテ能力檢定ヲ要スル馬數ハ、駈足競争ト障礙競争ニ於キマシテ千七百七十頭、速歩競争ニ於テ七百三十九頭、合計二千五百九頭デアリマス、併ナガラ是等ノ馬ヲ全部出走セシムル時ニハ甚シク法人數ノ増加ノ必要ガアルノデアリマスガ、又實際ノ狀況トシマシテ、其必要馬數ガ必ズ出ルトハ限ラヌノデ、其競争ノ種類ニ依リマシテ大凡出走セシメテ、馬ノ能力ノ檢定ヲ要スル數字ヲ見テ居ルノデアリマスルガ、其結果トシマシテ、各種ノ種牡馬候補馬等ノ出馬頭數ノ中デ、少クモ是ダケハ競馬ニ出サナケレバナラヌト云フ數字ヲ——物ニ依テ違ヒマスガ、或ハ二分ノ一、或ハ五分ノ一、或ハ三分ノ一ト云フ内輪ニ見マシテ、其數ガ總計デ千六頭ニナリマス、此馬ガ平均三箇年競馬ニ出ルト致シマスト、一箇年ノ出走實數ガ三千頭餘リニナルノデアリマス、其三千頭餘ノ馬ヲドウシテモ競馬ニ依テ能力檢定ノ必要ガアリマスノデ、ソレカラ詰リ開催日數及法人ノ數ト云フモノデ乗ケ出シテ割リマシタ結果ガ、今申上ゲルヤウニ

二日開催日數ヲ増加シ、サウシテ又俱樂部ノ數ヲ五箇所増加致シマス、尙ホ約四十三回バカリガ過剰ニナリマスノデ、足ラナイコトニナリマスケレドモ、是ハマア色々ノ關係カラ俱樂部ノ數ガ多過ルヨリハ少イ方ガ宜イデアリマセウシ、又四十三回位デアレバ強テ其爲ノ競馬俱樂部ト云フコトモ成立チマセヌカラ、千六頭ト云フコトニ止メタノデアリマス、ソレデ其種牡馬候補馬等ノ各種ノ馬ノ種類ニ依リマシテ、各頭數ガ違ヒマヌノデスガ、總計致シマシタ所ガ今ノヤウニ三千餘頭ニナルノデアリマス、ソレカラ關聯シテ先程御質問ノアリマシタ、競馬法ノ實施以來馬産上ニ及ボセル效果如何ト云フコトニ對スル御尋ニ對シテ、御答申上ゲテ置キマス、是ハ御承知ノヤウニ永年馬券ノ禁止ト云フコトガアリマシタ爲ニ、馬産地等ハ非常ナ困憊ノ狀況ニ陥ッテ居ッタノデアリマス、ソレガ競馬法ガ施行ニナリマシタ爲ニ漸ク息ヲ吐クコトガ出來ルヤウニナリマシテ、今日ノヤウナ狀況ニナッテ居ルノデ、若シ競馬法ガ制定セラレズシテ長ク續イタナラバ、馬産地ノ狀況ハ今日以上ニ困憊ヲ致シマシテ、今日ハ百五十萬頭ニ稍、足リマセヌケレドモ、最近ニ於テハ、昭和二年ニ於テハ昭和元年ヨリハ少シ總馬數ガ増加致シマシタ、大體ニ於テハ漸減ヲシテ居リマスガ、北海道ニ於テハ年々漸増シテ居リマス、總馬數ニ於テ

ハ百五十萬頭ニ稍、足リマセヌノデアリマシタガ、最近ノ統計デハ昭和三年ハマダ分リマセヌガ、昭和二年ニ於テハ稍、又少シ回復シテ増加致スト云フ狀況デアリマス、ソレデ產馬事業ニ及ボシタ影響ハ競馬法ガ又非常ニ大ナルモノガアルノデアリマス、唯是ハ數字上ドウスウト云フコトハ數字のニハ申上ゲラレマセヌガ、實際ノ實情ガサウ云フ狀況ニナッテ居リマス、以上デ馬ノ數等ノコトニ付キマシテハ大體申上ゲマシタノデアリマスガ、極ク大體ヲ申上ゲマス

○平川委員 只今刑事局長ガ御見エニナリマシタカラ、刑事局長ニ一點御質問致シタイト思ヒマス、ソレハ此馬券ノ賣買ニ依リマス所ノ競馬ハ刑法ノ賭博ニ該當スルノデハナイカ、其性質ガ若シ賭博ニ該當シナイトスルナラバ、百八十七條ノ富籤ニ該當シナイカ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス、色々學說モアルヤウデアリマスガ、私ノ知ッテ居ル範圍ニ依リマス、刑事局長タル泉二博士モ明ニ日本刑法ニ依テ是ハ賭博ニ該當スベキモノデアルト云フコトヲ斷定セラレテ居ルヤウデアリマス、又牧野博士ハ是ハ富籤ニ該當スベキモノデアルト云フコトヲ斷定セラレテ居アリマシタガ、此競馬ノ勝敗ハ馬ノ能力トカ、志村君ハ其點ハ御言ヒニナラナカッタヤウデアリマスガ、騎手ノ技術

トカ技術、斯ウ云フモノニ非常ナ關係ヲ及ボスモノデアツテ、此觀客或ハ馬券ヲ買フ人ハ明ニ勝敗ヲ鑑定シ得ル所ノ技能ヲ持ツテ居ルモノデアアル、ダカラ全然賭博ニモ該當シナイシ、富籤ニモ該當シナイト云フヤウナ議論モ多少アリマスケレドモ、是ハ極ク少數デアリマシテ大部分ノ說ハ如何ニモ斯ウ云フ馬匹ノ能力トカ、騎手ノ技術、斯ウ云フモノヲ鑑定シ得ル能力ヲ有スル者モ稀ニハアルケレドモ、是ハ極ク僅ナモノデアアル、觀客ノ大部分ハ斯ウ云フ技能ヲ持ツテ居ナイ者デアアル、假ニ斯ウ云フヤウナ技能ヲ持ツテ居ル者ガアリト致シマシテモ、到底的確ニ其勝敗ヲ豫期スルコトハ出來ナイ、故ニ是ハ刑法百八十五條ノ賭博ニ該當スルト云フ說ガアルノデアリマス、現ニ泉二博士ノ說ハ左様ナ說デアルト記憶シテ居ル、是ハ私尤デアルト思フ、志村君ノ先程ノ議論ハ、如何ニモ競馬ニハ御精通ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、一面法律ニ御精通ニナツテ居ナイ結果デアラウト思フ、固ヨリ私ハ競馬ハ少シモ知リマセヌガ、人ノ話ニ依テ得タ知識ニ依リマスト、入場券ヲ買ツテ、馬券ヲ買ツテ、而モ賭ヲスル人ハ馬ノ技能トカ、或ハ騎手ノ技術ヲ識別シ得ル人ハ殆ド稀デアアル、唯無暗ニアノ馬ヲ買ヘバ吃度勝ツダラウト云フヤウナコトデ馬券ヲ買ツテ張ルト云フノガ今日ノ狀態デアアル、志村君ノヤウニ餘程御研究ニナツテ馬券ヲ買ヒ

馬ニ張ル人ハ極ク少數デアアル、大部分ハ前申ス通りノ人デアアル、假ニ志村君ノヤウナ人が稀ニアツタト致シマシテモ、的確ニ此馬ヲ買ヘバ勝ツト云フコトハ斷定ハ出來ナイ、若モ是ガ豫定出來ルナラバ、サウ云フ人ハ何時モ其競馬場ニ於テ金儲ヲシナケレバナラナイガ、事實ハ之ニ反シテ、斯ウ云フ人ハ却テ損ヲスルト云フコトガ多イ、現ニ志村君ハ其苦イ經驗ヲ嘗メラレタ一人デアラウト思フ、サウシマストドウシテモ私等ノ常識ニ依テ見マスト、馬券ヲ買フ行爲ト云フモノハ、刑法百八十五條ノ賭博ニ該當スベキモノデアアル、又泉二先生ハ然ラバ何人ノ間ニ於テ行ハレルカト云フコトニ付テモ詳細ニ御議論ニナツテ居リマシタガ、私ハ是ハ必要ガアリマセヌカラ省略シマス、而シテ又牧野博士ノ如キモ是ハ明ニ富籤ニ該當スベキモノデアルト云フコトヲ御斷定ニナツテ居ル、而シテ競馬法ガ兩院ニ提出ニナツタ際ニ、其當時ノ刑事局長ハ林博士ト考ヘテ居リマス、此林博士モ政府委員トシテ明ニ貴族院ノ委員會ニ於テ、是ハ富籤ニ該當スベキモノデアアル、併シ一面馬ノ改良及増殖ヲ圖リ、又馬事思想ヲ普及スル、此上ニ立脚シテ利益ノ方面ヲ觀察スルナラバ、是ハ許可シナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ御述ベニナツタノデアリマス、私ハ明ニ此馬券買買ノ性質ガ刑法ノ百八十五條、百八十七條ニ該當シナケレ

バナラヌト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、此點ニ付テノ泉二刑事局長ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス
○泉二政府委員 御質問ノ事柄ニ付キマシテハ、學說ハ從前ニ於キマシテハ一定シテ居ナカッタノデアリマス、殊ニ競馬ニ付キマシテハ馬ノ鑑定ノ技能ヲ必要トスルノデアツテ、技能競技ハ廣イ意味ノ賭博ニモ當ルモノデアルト云フ學說ハ佛蘭西邊リテ隨分アッタノデアリマス、サウ云フ見地カラ致シマシテ、本邦ニ於キマシテモ明治四十年頃カ、四十二年頃デアツタカ、ハッキリ年ヲ記憶シテ居リマセヌガ、何デモ其頃ニ於キマシテハ司法省ト致シマシテモ、其見解ニ贊成ヲ致シマシテ、馬ノ鑑定ヲスル者ニ對シテ馬券ヲ賣ルト云フコトハ賭博ニ當ライモノデアルト云フ見解ヲ執ツテ、ソレヲ許シタコトガ數年ニ互テ居ッタノデアリマス、併シソレハ理論上サウ云フ風ニモ考ヘラレマスガ、實際ヤツテ見マスト、只今御説明ニナリマシタヤウニ、本當ニ其鑑定ヲスルノデハナイ、サウ云フ能力者バカリガ馬券ヲ買フノデハナイ、事實ニ於テハ全ク偶然ノ輸贏ヲ決スルヤウナ方法ガ行ハレルト云フ事實ノ觀察カラ致シマシテ、是ハ矢張刑法ノ賭博ニ當ルデアラウト云フノデ、司法省トシテハ之ヲ許サナイト云フ見解ヲ執リマシタ、其後一時競馬ハ全ク從前ノ方法ニ於テ行フコトハ禁止セラレタコトハ御承知ノ

通りデアリマス、所デ學說トシテハ、今日デモ矢張サウ云フ議論ハアルノデアリマスガ、今日司法省、ソレカラ裁判所等ノ見解カラ申シマスト、競技的ノモノデアアルカラ犯罪ニナラヌト云フ見解ハモウ執ラナイコトニナツテ居ルノデアリマス、唯問題ハ刑法百八十五條ノ賭博ニ當ルモノデアアルカ、百八十七條ノ富籤ニ當ルモノデアアルカト云フコトニ歸スルノデアリマスガ、是ハ見ヤウニ依ルノデアリマシテ、若シ當事者ガ、馬券ヲ買フ者ノ間ニ於テ輸贏ガ決セラレルモノデアルト云フコトニ見マスレバ矢張賭博ト云フコトニナルノデアリマセウ、ケレドモ此競馬法ニ認メラレタ方法ニ依リマスト云フト、其觀察ニハ當ラヌノデアリマシテ、寧ロ政府ハ百八十七條ノ富籤ニ類スル行為ノ性質ヲ持ツモノデアルトスル方ガ宜カラウト思フノデアリマス、廣イ意味ニ於ケル賭博ト云フコトニナリマスト、賭博モ富籤モ偶然ノ輸贏ヲ決スルト云フ共通ノ點カラ申シマシテ、一種ノ賭博ト申シマスルカ、狹ク分ケマスト性質ハ寧ロ百八十七條論ノ方ガ正シイカト思ヒマス、併シ政府カラ申シマスルト、取引所ニ於ケル相場行為ノ如キモ賭博デアアルケレドモ、經濟上其他ノ國策上必要デアルト云フ理由デ取引所ヲ許シテ居ルノト同ジヤウニ、又此競馬ト云フモノガ國策上必要デアルト云フコトヲ認メタナラバ、法律ヲ

以テ之ヲ許スト云フコトハ、此刑法上ノ見地カラ申シマスレバ何等問題ニナラヌコトデアリマシテ、本當ノ根本ノ性質論ハ兎ニ角、富籤ニ當ルモノト云フ方ガ適當デアラウト思ヒマスケレドモ、此法律ニ依テ違法性ハ全ク取去ラレ、刑事上ノ問題ニナルベキモノデナイト云フコトダケハ申上ゲテ置カナケレバナラヌト思ッテ居リマス

○川島委員 今局長ノ御話ヲ承ッタノデアリマスガ、四十年來ノ競馬法、所謂空札ヲ賣ッタノハ富籤ナリ、偶然ノ輸贏ヲ爭フコトニ當ルト思ヒマスガ、今日ハ空札ヲ賣ッテ居ラス、全ク馬ノ能力ヲ判定シテ買フノデアリマスカラ、今ノ御話ハ富籤ニモ當ラヌト思ヒマスガ、ドウデスカ

○泉二政府委員 只今御話ノヤウニ四十年頃ニヤッテ居リマシタ競馬ニ付キマシテハ、「ガラ」ト云フ方法ガ一ツ行ハレテ居リマス、是ガ賭博デアアルコトハ誰モ疑ハナカッタ、所謂馬券ヲ賣ル方ノ者ニ付テ先刻申上ゲマシタヤウニ賭博ニナルト云フ説ト、ナラナイト云フ説トハ鑑定技能ヲ要スルノデアアルカラ、賭博ニナラヌト云フ考ガ司法省デモ行ハレテ、許シテ居ッタガ、ソレハ事實カラ見テドウモ鑑定技能ノ爭ト云フコトニナラス、偶然ノ輸贏ヲ決スルト見ルノガ適當デアアル、故ニ禁止スル方ガ宜カラウト云フコトニナッテ、結局之ヲ禁止ナケレバナラヌト云フ必要ヲ感

ジタノデアリマス、富籤ノ方ニ解釋シタコトモアリマス

○川島委員 私ノ考デハ今ノ法律ニ規定シテ居ル方法デアリマス、寧ろ富籤ニ近いモノデアルト思ッテ居リマス

○平川委員 詳細ノ御説明ニ依テ了解致シマシタ、性質ハ富籤ニ該當スベキモノデアアルガ、國防ノ關係上競馬法ト云フ法律ヲ以テ違法性ヲ去ッタルノデアルト御解釋デアリマスガ、私ハ此解釋ガ相當デアルト思ヒマス、サウ致シマスト先程ノ志村君ニ對スル農林大臣ノ御説明ハ間違ッテ居ル(「賭博ニ非ズ」ト呼フ者アリ)今ノ説明デハ性質ハ賭博デアアルケレドモ、違法性ヲ去ッテ居ル、先程農林大臣ハ性質モ賭博デアルト云フ風ニ御解釋ニナッテ居ル、私ハ志村君ニ對スル農林大臣ノ説明ハ間違ッテ居ルト解釋致シマス

○東政府委員 今司法省ノ政府委員ノ答辯ガ此競馬法ノ制定ノ當時ト同ジ議論デアアル、明ニサウ云ッテ居ル、前ニ申シタヤウニ賭博ニハ三ツノ分類ガ出來テ居リマス、貴方モ御存知デセウ、ソコデ此法案ニ於テ認メラレマシタ馬券ヲ賣リマス關係デアリマスガ、是ハ賭博ニハ當ルマイ、競馬ハ狭イ意味ノ賭博ニモ當リマセヌ、本案ヲ見テ下サイ、是ハ制定ノ當時賭博ニ非ズト云フコトヲ斷定シテ居ル、志村君ノ意見モ農林大臣ノ意見モサウデアアル、賭博トハ違フ○内野委員長 田中君ハ……

○田中委員 今日ハ質問ヲ保留致シマス

○丹下委員 先刻農林大臣ニ質問ノ時ニ政府委員カラ答ヘサセルト云フコトニナッテ居リマスカラ、其御答辯ヲ願ヒタイ、同ジコトヲ繰返シテ申ス譯ニナリマスガ、詰リ色々競馬法ニ付テ弊ガアルトカ何トカノ説ハアルケレドモ、國策上此競馬法ハ必要デアアル、所謂馬匹ノ改良増殖上必要デアルト思フ、サウシテ此理由書ヲ見マシテモ、本法施行ニ依テ著シク出場馬數ガ増加シタト云フコトハ記載サレテ居ル、併シ一般的ニ馬ノ改良増殖上如何ナル效果ヲ齎シタカ、直接間接ニ何等カノ效果ガアルカ、ソレヲ何カ具體的ニ承ルコトハ出來ナイカト云フコトノ念ヲ押シタノデアリマス

○戸田政府委員 是ハ先程立法上ノ理由ヲ御説明申上ゲタ際ニ中ニ入レテ申シマシタガ、數字的ニハ申ス譯ニ行キマセヌガ、馬產地ガ非常ニ疲弊シテ居リマシテ、競馬法ノ禁止ガ更ニ續イテ居ッタナラバ、殆ド馬產地ガ困憊ノ極產馬ハ出來ナイヤウニナリハシナカッタカト云フ狀況ニナッテ居ッタガ、幸ニ競馬法ノ施行デ馬產地ガ活氣ヲ呈シテ今日ノ狀況ヲ維持スルコトガ出來ルヤウニナッタ、若シ競馬法ガ復活シナカッタナラバ——馬券ヲ賣ルコトガ復活シナカッタナラバ、馬產地ハ恐ラク今日ヨリモ數層慘メナ狀況ニ陥ッテラウト思フ、

ソレハ今日馬產地ノ人ニ會ッテ當時ノコトヲ聞キマス、異口同音ニ申シテ居ル、數字的ニドウ斯ウト云フコトハ申サレマセヌガ、聞イテ居ル、今ノ數字上ノ増加ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ總馬數ハ競馬法ノ施行ガアリマシテモ其増加ハ大體ニ於テアリマセヌ、是ハ競馬ノミノ關係デハアリマセヌ、各種ノ經濟上ノ原因ニ依テ馬產ガ稍減ルコトニナリマス、北海道ハ年々増加シテ居リマス、最近ノ統計デハ、昭和三年ハマダ分リマセヌガ、昭和二年ハ昭和元年ヨリモ總馬數ガ増加シテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ、最近年々總馬數ガ減ル傾向ニアルノデ、非常ニ憂ヘテ居リマシタガ、最近ノ統計デハ稍増加シタト云フ譯デ多少愁眉ヲ開イテ居リマス、競馬其モノガ效果ヲ齎ラシタコトハ爭フベカラザル事實デアリマス、殊ニ今ハ競馬直接ノ效果トシテ「サラブレッド」ナドハ寧ろ非常ニ高ク賣レルコトニナッテ居ル、又大體ニ於テ馬ノ價格ハ向上致シマシタ、隨テ馬產地ヲ潤シタ直接間接ノ影響ハ多大デアリマス、唯今日ハ先程モ説明ノ際ニ申上ゲマシタヤウニ、獨リ「サラブレッド」ノミガ——「サラブレッド」ハ各種ノ馬ノ改良ニハ根本ヲ成スモノデアリマスカラ、必要デアリマスガ、「サラブレッド」ガ多過ぎタノミデハイケマセヌカラ、更ニ必要ナル實用的ナ「アングロ、アラブ」ト云フ堅實ノ馬ヲ以テ競馬用ノ能力ヲ増進シ、

ソレニ依テ能力ヲ檢定シ、出場ノ機會ヲ與ヘルコトガ必要デアリマスカラ、今度ノ改正デハ其方面ニ特ニ力ヲ注ギタイト云フ考デ居ルノデアリマス

○丹下委員 ソレカラ先刻ノ大臣ノ御答ニナリマシタ地方競馬ハ全然種類ガ違フコトハ分ッテ居ル、地方競馬デモ本競馬デモ直スコトノ意思ガナイヤウニ承ッテ宜イノデアリマスカ

○東政府委員 其通りデス

○丹下委員 是ハ本法ト直接ノ關係ノ地方競馬ニ付キマシテ一寸參考ニ承ッテ見タイ、御差支ナクバ御答ヲ願ヒタイ、色々地方競馬ニ付テハ本競馬ト違ッテ種々弊害ノアルコトヲ耳ニ致シテ居ル、之ニ對シテ本省ノ取締ニ關スル狀況等ヲ一ツ承ッテ置キタイ

○東政府委員 ドウ云フコトデアルカ取締ノ狀況ヲ御知リニナリタイト云フ御話デゴザイマスガ、地方競馬ハ今法規ニ依テ相當ノ監督取締ヲ爲スコトニナッテ居リマスガ、尙ホ地方競馬ノ亂雜ニナル爲ニ種々ノ弊害ガアルト云フコトモ當局者ハ認メテ居リマス、之ニ對シテ政府ハ今後モ一層嚴重ニ取締ヲ爲ス積リデ居リマス、尙ホ其外何カ斯ウ云フコトガアルトカ、ア、云フコトガアッタト云フコトハ、又調査ノ上説明ヲ致シマス、大體此地方競馬ノ監督ト云フコトノ狀態ハ地方長官ノ許可權ニナリマス、ソレデアルカラ公認競馬トハ全然性質ヲ異ニシテ居ル、ソレダケヲ

御承知ヲ願ヒタイ

○内野委員長 御要求ノ書類ハ明日御手許へ差上ゲマス、今日ハ是デ閉會致シマス

午後三時三分散會

昭和四年二月七日印刷

昭和四年二月八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社